

委員会のうごき

経済建設常任委員会

9月15日、19日の2日間、付託された所管の決算審査・事務調査・陳情審査を行った。
また7月14日、継続調査中の畜産ふん尿の処理状況について3カ所の現地調査を行った。

(地域整備課)

未収金

問 今定例会で厳しく指摘したなかで、町営住宅使用料未収金は、過年度分約224万円、17年は1年間で、259万円増えて483万円になった。その原因と対策は。

答 原因の一端は、徴収方法など、合併と同時に未収金対策の足並みが崩れたこと。

これから保証人も含め回収する。

(水道課)

合併浄化槽設置補助金

問 補助金制度はどのよ



町内には220戸の町営住宅がある

うに変わったか。周知方法は。

答 平成18年度から補助率が変わってきた。県補助金は、平成21年度から、個人が設置する浄化槽には出さない方針。

水道事業

問 給水単価と供給単価が違う。近い将来この料金体制で、継続できるか。

答 1㎡の水にかかる費用は168円、水道料金は136円なので、32円分安売りしている。水道事業すべてについて滞納処理などの努力をしながら、近い将来値上げなどをしなければ、事業そのものが持たない。

(観光工商課)

索道事業

問 収入が当初の予想より少ないようだが、今後の対策などは。

答 全国的な傾向だが、他のスキー場より落ち込みは少ない。約200万円の赤字になった。

来シーズンは、スキー場改札員の廃止も含め、新しい改革に着手している。駐車場の無料化・割高感のあるリフト券の減額、2日券の新設・ナイ

ターの見直し・サービス向上策の実施(キッズエリアの新設)などを検討している。

まちなみ環境整備

問 事業費の300万円はどのようなことに使ったのか。

答 今年度は、まちなみ環境整備協議会での、検討作業の費用である。有利な継続事業で、17年から仮称「アルペンライン地区」と、名づけて取り組んでいる。(博労座からスキー場ロッジ大山にいたるまでの区域)

畜産ふん尿処理

施設を調査

6月定例会から継続調査中の畜産ふん尿の処理状況について、事業者の説明を受けながら3カ所の現地調査を行った。

調査の結果、汚水処理の改善対策・臭気対策・糞尿散布方法・調整池等による雨水対策などの改善が急務であることを確認した。

産業振興課はもとより、住民生活課・県などと連携をとり、定期的な巡回を指導する。



防疫服を着て施設調査をしました